

The Human 識者に聞く

平成23年4月1日、九州労災病院院長・糸満盛憲がメリジャパンの新理事長に就任しました。本年度は当法人の提案している特区提案に対する厚生労働省からの回答が期待されるなど、活動の成果が具現化されそうな大変重要な時期の就任となりました。就任のご挨拶として当法人の活動に対する思いをお伝えします。

キャダバー・トレーニング (Cadaver training ^{*1}) 実現に向けて

独立行政法人労働者健康福祉機構
九州労災病院

院長 糸満盛憲

昭和19年 神奈川県生まれ
昭和45年 九州大学医学部卒業
平成5年 北里大学整形外科学主任教授
平成22年4月より北里大学名誉教授および現職
整形外科外傷、変形性関節症、同種骨・関節移植
と骨バンクを専門に多くの治療に携わる



私の先代の教授の手術は実にきれいでまさに職人技でした。大きな体をかがめるようにして、急ぐでもなく飾るでもなく、黙々と丁寧なメスさばきで流れるような手際でいつの間にか手術が終わっていました。外科医には感性が要求されます。私もこんな手術ができるようになりたいと、目を皿にして教授の指先を追っかけていましたが、とうとうその域に達せぬまま定年を迎えてしまいました。昔から「手術手技は上手な人の手術を見て盗むもの」と言われ、長い間に外科は極めて強固な徒弟制度が築かれ、その中で技術が伝承されてきました。

しかし近年、X線透視、腹腔鏡や関節鏡などの内視鏡、ナビゲーションシステムなどの手術機器が整備されるに伴って、小切開からすべての手術操作をする低侵襲手術が発展してきました。鏡視下手術にとどまりません。人工関節や脊椎の手術、骨折の手術も小さな皮膚切開から操作し、大きなインプラントを設置する最少侵襲手術 (Minimally Invasive Surgery: MIS) あるいは小切開手術が広く行われるようになってきました。深いところで操作するMISでは術者にしか術野は見えないどころか、術者にも全体像が見えないことさえあります。当然助手には何も見えません。広い良好な視野で手術していた時代とは全く状況が変わってきました。手技を盗もうにも盗めないのです。このような先進的な手術手技は患者さんもよくご存じで、「先生はMISでなさいますか?」と聞かれることが増えました。

これまでたくさんの手術をこなし、十分な知識と確立した手技と立体感覚を持ってMISに入っていく外科医にとってさえ最初は必ずしも容易ではありません。しかしこれは時代の流れ・要求であるとの理解から、自らの未熟を顧みず見よう見まねでMISに取り組み始める外科医がいます。不十分な視野に不確かな手技で行うため、長時間を要し広範に組織を損傷するMaximally Invasive Surgeryになってしまいます。ラーニングカーブ (Learning curve ^{*2}) に期待し、めげずに患者さんを練習台にしてMISを続ける強者もいますが、経験不足から内視鏡視下手術で死亡事故に至った事例があることは周知の事実です。

このような時代の流れの中で、外科医にとって正しい手術手技習得の方法の確立は焦眉の問題です。欧米先進国だけでなくアジア諸国でもキャダバー・トレーニングが日常化しているのに、我が国では法的な制約から実現するに至っていません。日本人の渡航移植が、「札束を積んで外国で臓器を買う行為」だとの批判を受けてWHOによって禁止されました。しかし国内でキャダバー・トレーニングができない日本の外科医にとって、今のところ外国でやるしかありません。外国のご遺体で練習するしかないのです。日本の医療のためのトレーニングを外国で行う、こんな不合理が通って良い理屈はありません。国内で合法的なキャダバー・トレーニングを可能にし、患者さんにより安全で確実な手術結果を提供することが私たちに託された使命であると考えています。

今後も新理事長として皆様のご理解とご協力を得てキャダバー・トレーニングの実現に向けて運動したいと思います。どうぞご指導、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

*1 キャダバー・トレーニング (Cadaver training)
献体を用いた医療技術トレーニング。

*2 ラーニングカーブ (Learning curve)
学習曲線。同じ作業を続けていくと、その作業に関する経験則が積み上げられ、作業の効率が高まっていくことを表したグラフ曲線のこと。

医療を育てる活動の輪に、あなたもご参加ください。

日本の医療技術の習得や開発は、私たちの、未来の日本のためのものです。外国の施設や善意にいつまでも頼るのではなく、医療の質と安全については、日本国民自らが負うべきではないでしょうか。メリジャパンの趣旨にご賛同いただける方は、寄付、または会員登録、署名など募集していますので、ぜひご協力ください。お問い合わせをお待ちしています。

◆ 会員の種別

会員の種別	特 徴	年会費
正会員	総会議決権を持つ会員です。 運営にも積極的に関わっていただけます。	個人会員 ¥5,000
		法人会員 ¥10,000
賛助会員	総会の議決権はありません。 活動を支援してくださる方が対象です。	個人会員 ¥3,000
		法人会員 ¥5,000

※正会員・賛助会員ともに入会金は不要です。

医療を育てるワンコイン募金

医療事故や医療過誤をなくし、高度な医療技術の普及をめざすメリジャパンの活動を推進していくための募金を行っています。みなさんが、そしてご家族がより安全に高度な医療を安心して受けられるよう、日本の医療の質と安全性の向上をめざす活動を、みなさんの手で実らせてください。

募金方法

1 電話、FAXまたはE-mailで、

1. お名前 2. ご住所 3. 電話番号をお知らせください。
募金いただいた方には、活動報告を送付いたします。

- ・電 話:052-380-5213
- ・F A X:052-751-8169
- ・E-mail:meri_info@hachiya.or.jp

※いただきました個人情報は領収書、活動報告などの送付に使用し、それ以外の目的には使用いたしません。
※振込手数料はご負担いただけますようお願いいたします。
※法人での募金をご希望の方は事務局までご相談ください。

2 1口500円(個人の方のみ。口数制限はありません)を下記いずれかの口座にお振込ください。

- ・名古屋銀行 覚王山支店 普通3312469
口座名:トクヒ)メリジャパン
- ・三菱東京UFJ銀行 覚王山支店 普通0015826
口座名:トクヒ)メリジャパン
- ・ゆうちょ銀行 12140 89381881
(他行からお振込の場合は、
ゆうちょ銀行 218支店 普通8938188)
口座名:トクヒ)メリジャパン

編 集 後 記

3月11日に東北地方にて発生した東北地方太平洋沖地震で犠牲となり、尊い命を失われた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げるとともに、被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。あわせて被災地の一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

メリジャパンでは、すでにホームページ等でお知らせしたように、みなさまからいただいたワンコイン募金の中から日本赤十字社を通じて義援金10万円(※)を寄付しました。

このたび、メリジャパンの理事長が表頁でご紹介したように蜂谷裕道から糸満盛憲に代わりましたが、糸満新理事長のもとでこれまで進めてきた「一日でも早く日本国内でキャダバー・トレーニングを実現する」ための活動を、みなさま方と一緒に今後とも続けてまいります。

また、メリジャパンの特区提案に対し昨年6月に厚生労働省から出された回答の中にありました「提案の実現に向けて平成23年度できるだけ早期に結論を得る」に関わる動きが、新年度になったのを機に早速でてるのではないかと心待ちにしているところです。(O)

※3月31日までにみなさまより106,300円のご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。



●お問い合わせ先

特定非営利活動法人メリジャパン

〒464-0821 名古屋市千種区末盛通2-4 はちや整形外科病院内

電話052-380-5213 E-mail meri_info@hachiya.or.jp

URL <http://www.merijapan.org>



MERI Japan